

《市長の施政方針より》

3 令和5年度の主要事業(3月補正予算を含む)

続きまして、令和5年度に行う主要事業について、新規の事業及び拡充する事業を中心にご説明いたします。

なお、このたびの予算編成は、令和5年度当初予算に加え、国の補正予算を活用した令和4年度3月補正予算を一体的に編成しておりますので、両方を併せて、総合計画の体系に沿ってご説明いたします。

(1) 未来へつなぐ人と暮らしづくり

まず 第一のテーマは、「未来へつなぐ人と暮らしづくり」です。

① 結婚、出産、子育てを支えるまち

このテーマの一つ目の柱、「結婚、出産、子育てを支えるまち」の推進に向けては、まず、少子化対策のひとつである結婚新生活支援事業について、収入要件を緩和するとともに、29歳以下のご夫婦については、現行30万円の支援を60万円に、中古物件購入時の支援を現行50万円から80万円に拡大し、転入の促進を図ります。

すべての妊産婦、子育て家庭が安心して出産、子育てができるよう、妊娠時から出産、子育てまで身近な伴走型の相談支援を行うとともに、妊娠届出時、出生届出時にそれぞれ5万円を給付することで、妊娠期から子育てまで一貫した支援を行います。

低所得の妊婦の経済的負担を軽減するとともに、妊婦の状況を継続的に把握し、必要な支援につなげるため、初回の産科受診料を助成します。

産後の母子に対して心と体のケアや育児のサポートを行う産後ケアに係る費用への助成制度について、助成金額を増額するとともに、助成対象サービスに乳房マッサージ、授乳相談を含めるほか、多胎児の場合の加算額を設け、充実を図ります。

就学前施設やアフタースクールにおいて、新型コロナウイルス感染症対策をさらに充実させるため、衛生用品等を整備します。

認定こども園等の就学前施設、小・中・特別支援学校の通園・

通学バスに置き去り事故防止装置を整備し、子どもたちが安全に通園・通学するための万全の対策を講じます。

民間認定こども園の保育室や幼児用トイレの改修を支援するとともに、志染保育所の保育室や図書スペースの増設を行うことで、保育環境の充実を図ります。

認定こども園等教育・保育施設への運営費の給付やアフタースクールの運営のほか、保育教諭等の処遇改善を図り、充実した教育・保育サービスを提供します。

## ② 豊かな学びで未来を拓くまち

二つ目の柱、「豊かな学びで未来を拓くまち」の推進に向けては、先に申し上げました、生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援、小中一貫教育の推進、未来を創る学力育成三木モデルの推進、コミュニティ・スクールの導入のほか、子どもたちに優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、芸術文化への関心を高め、心の豊かさを育むため、コロナ禍により動画配信となっていた劇団四季のミュージカル公演の鑑賞を三木市文化会館において再開します。

子どもたちの個別最適な学習の充実、増加する不登校への対応、医療的ケアが必要な児童生徒への支援のため、ICT教育指導員、不登校対策指導員、学校看護員を増員します。

物価高騰による食材費の値上がりにより、学校給食において栄養バランスの取れた献立を維持するのが困難な状況です。一方で、保護者の家計も物価高騰による影響を受けていることから、令和5年度については、学校給食の食材費の物価高騰分を市が支援します。

また、今後の学校給食の円滑な運営や食育の推進を図るため、学校給食に関する課題等について、学識経験者、保護者、学校代表者から意見を聴くため、学校給食審議会を設置します。

本市における教職員の研修や教育に関する調査・研究の拠点である教育センターの屋上の防水、外壁等の改修や照明のLED化等を行います。また、別所小学校のトイレの洋式化、三木東中学校、緑が丘中学校及び自由が丘中学校の体育館の照明のLED化も行います。

### ③ 安心して暮らせるまち

三つ目の柱、「安心して暮らせるまち」の推進に向けては、まず、電話による特殊詐欺の被害から高齢者を守るため、防犯機能付き電話機の購入費用を、新たに助成します。

市内のひきこもり状態にある方の社会参加と自立をめざすための居場所づくり事業を行う団体に対し、事業に要する費用を助成することで、ひきこもり状態にある方とその家族を地域全体で支える仕組みづくりを促進します。

健康寿命の延伸を図り、高齢者が住み慣れた地域において自立した生活が送れるよう、「みっきい☆シニア健康サポート事業」を新たに実施します。みっきい☆いきいき体操やフレイル予防などの介護予防と生活習慣病等の重症化予防対策を一体的に実施し、保健師、管理栄養士などの専門職が地域に出向き積極的に関わりながら、適切な医療・介護サービスにつなぐことで、高齢者の健康をサポートします。令和5年度は、高齢化率が高く、1人当たりの医療費が高い細川町、口吉川町、吉川町で実施し、今後、全市的に展開してまいります。

令和6年度から3年間の高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定を進めます。地域課題である高齢者の移動支援や

ごみ出し支援など地域での支えあいの体制づくりについても検討していきます。

マイナンバーカードの普及と利活用を促進するとともに、市民の健康増進を図るため、昨年10月に導入した「みっきい☆健康アプリ」の機能を拡充します。新たに市のゴルフ大会等の参加者にポイントを付与するとともに、周遊型イベントでもポイントを付与できるような機能を追加します。

市役所の窓口での手数料の収納について、現在、市民課及び税務課でキャッシュレス化を行っているものを、市役所の他の窓口や公民館等にも拡大し、市民の利便性の向上を図ります。

## (2) 安全・安心なまちづくり

第二のテーマは、「安全・安心なまちづくり」です。

### ① 暮らしに必要な環境を整えるまち

このテーマの一つ目の柱、「暮らしに必要な環境を整えるまち」の推進に向けては、先に申し上げた、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術の支援のほか、令和11年度の供用開始をめざし、次期ごみ処理施設の整備を進めます。令和5年度は、昨年度に引

引き続き生活環境影響調査を実施するとともに、施設整備工事の仕様書に相当する要求水準書の策定、施設建設予定地の都市計画決定及び敷地造成に係る各種認可申請を行います。

安全で快適なまちづくりの実現のため、クリーンセンターの大規模改修を引き続き実施します。

病虫害等で枯れたり、風水害等で破損した樹木の倒木により、人や家屋に被害を与えるおそれのある危険木を伐採する市民や集落に対し、伐採費用の一部を助成します。

## ② 持続可能なまち

二つ目の柱、「持続可能なまち」の推進に向けては、先に申し上げた、官民連携によるスマートシティの推進のほか、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりを実現するため、医療・福祉・商業施設などの生活サービス機能を計画的に配置するとともに、人口密度を維持するために居住機能を誘導し、これらを公共交通でつなぐ包括的な計画である立地適正化計画を策定します。

密集市街地の改善に向け、モデル地区として取組を進めてき

た宮前地区における道路整備等のための測量を行います。

また、災害時の避難や緊急車両の通行の妨げとなっている狭あい道路を解消するため、道路用地を市へ寄附いただける方に対して、測量及び登記費用の助成を行います。

令和元年度に策定した空家等対策計画の見直しに当たり、市内の空家等の実態を調査し、計画見直しの基礎資料とします。

### ③ 防災のまち

三つ目の柱、「防災のまち」の推進に向けては、まず、災害が多発化、激甚化する中、地域防災力の充実強化を図るため、消防団員報酬を増額し、消防団員の処遇を改善します。

吉川分署敷地の借地の解消、停電時における消防庁舎機能を確保するための非常用発電機の新規設置及び感染症予防のための仮眠室の個室化のため、新たな敷地の確保が必要となることから、吉川分署を旧よかわ幼稚園跡に移転し、建替えします。

災害時の電源供給に活用するためプラグインハイブリッド車を1台追加し、大規模停電時の避難所運営に備えます。



ため池の定期点検を実施するとともに、改修が必要なため池の防災工事に向けた実施計画の作成、使用しなくなったため池の廃止工事を行います。加えて、豪雨が想定される期間にため池の水位を下げることで、貯水能力を高め、下流域の河川の氾濫を防ぐ取組に対して費用を助成します。

### (3) いきいき輝く魅力づくり

第三のテーマは、「いきいき輝く魅力づくり」です。

#### ① 地域資源で人を呼び込むまち

このテーマの一つ目の柱、「地域資源で人を呼び込むまち」の推進に向けては、先に申し上げた、ゴルフを核にしたまちづくりの推進のほか、三木スケートボードパークのリニューアル工事の完成を記念し、トップ選手によるデモンストレーションなどのオープニングイベントを開催します。

三木合戦ゆかりの地を巡るコースを設定し、謎解きをしながら各史跡を巡るようにすることで、ゲーム感覚で三木のまち歩きを楽しめる仕掛けをつくり、観光客の誘客を図ります。

三木市自転車活用推進計画に基づき、近隣市との連携によるサイクルツーリズム、レンタサイクルを推進することで、観光客の誘客、交流人口の増加を図ります。令和5年度は、神戸電鉄三木駅でのレンタサイクルの実証実験や、神戸市と連携したサイクルツーリズムの推進に合わせ、山田錦の郷のサイクルステーションの充実を図ります。

## ② 地域の魅力を伝えるまち

二つ目の柱、「地域の魅力を伝えるまち」の推進に向けては、まず、全国のクリエイターを対象に、三木金物を使用したふるさと納税の返礼品を開発するアイデアコンテストを開催し、三木金物のPRに加え、ふるさと納税の寄附額の増額につなげます。

また、ふるさと納税型クラウドファンディングを活用し、ふるさと納税の返礼品開発を支援することで、魅力ある返礼品の開発を促進します。加えて、市外事業者が市内に移転する場合には、支援額を増額することで、事業者の誘致も図ります。

令和6年に市制施行70周年を迎えるに当たり、令和5年度にロゴマークの公募などプレ事業を実施することで、市全体で

市制施行70周年を祝う機運を醸成します。

### ③ 地域の魅力を高めるまち

三つ目の柱、「地域の魅力を高めるまち」の推進に向けては、先に申し上げた、山田錦の郷の整備推進、三木産山田錦のブランド化と山田錦で作られた日本酒の振興、三木金物ブランド戦略の推進のほか、ひょうご情報公園都市第2期工区の魅力向上と、交通渋滞緩和を目的としたアクセス道路の地形測量、地質調査を行います。

(仮称)三木スマートインターチェンジに接続する市道の整備を進めます。アクセス道路となる市道加佐草加野線の用地買収、整備工事を進め、令和6年度末の完成をめざします。

市内の中小企業者の経営革新を目的とした設備投資への支援制度について、令和5年度は、新たにデジタル技術を活用した経営革新に対してのDX枠を設けることで、デジタル社会に対応した経営革新を促進します。

中小企業のコロナ関連融資の返済が本格化することを踏まえ、資金繰りの円滑化と返済負担の軽減を支援するため、融資の条

件変更を行った中小企業者に、これに伴う信用保証料相当額を支援します。

新型コロナウイルス感染症による消費の落ち込みを回復するため、商店街が実施するお買い物券事業を支援し、消費喚起と市内経済の活性化につなげます。さらに、物価高騰が続く中での、市民生活も支援してまいります。

三木城本丸跡、二の丸跡について、歴史遺産を活かした個性ある三木のまちづくりを進めるため、令和5年度は、本丸跡の発掘調査を実施します。また、旧上の丸庁舎跡に残るコンクリート基礎の撤去、老朽化した堀光美術館別館、釜城館等の撤去を実施し、環境整備を行います。

国指定重要文化財の伽耶院<sup>みさかみょうじんしゃ</sup>三坂明神社本殿の屋根こけら葺きの全面張替え及び飾り金具の補修について、支援を行います。

#### (4) 各会計の当初予算並びに3月補正予算の概要

以上、これら主要事業により、令和5年度の一般会計については、総額355億2千万円、昨年度と比較して11億4千万

円、率にして3.3%の増額となり、過去最大規模の予算編成となりました。

財政健全化の取組による事業の見直しを進めた一方で、スマートインターチェンジの整備や吉川分署の移転建替え、市役所本庁舎の外壁改修などの大型事業に加え、障害者福祉サービスなどの給付費の増加や、急激な物価の高騰の影響を受けて予算規模は増額となります。

一般会計を含む特別会計、企業会計の歳出予算の合計につきましては、総額615億8千512万4千円で、前年度と比較して2.5%、金額にして14億7千716万5千円の増額となった次第です。

一般会計の歳入の主なものとしましては、まず、市税は、対前年度比で1.7%、1億8千600万円の増収を見込み、113億5千400万円としています。

市税の内訳としまして、市民税では、個人市民税が1.8%、6千300万円の増収で35億4千600万円、また、固定資産税についても6千627万円の増収で55億6千615万円を見込んでいます。

地方交付税については、地方財政計画がプラス1.7%の伸びとなっており、普通交付税は、前年度から3億4千540万円

増の51億5千490万円を見込みます。

一方、地方交付税総額の不足分を補う臨時財政対策債は、交付税総額の増加や市税等の増収に伴い減少することから、対前年度比71.3%、5億7千10万円減の2億2千990万円の発行を予定しています。

全体の収支不足につきましては、16億7千900万円を基金から取り崩し、収支の均衡を図っています。

特別会計につきましては、

国民健康保険特別会計	86億6千700万円
介護保険特別会計	75億3千200万円
後期高齢者医療事業特別会計	15億9千100万円
学校給食事業特別会計	3億 円
合計	180億9千 万円

企業会計では、

水道事業会計	29億 149万6千円
下水道事業会計	50億7千362万8千円
合計	79億7千512万4千円

となっています。

また、令和4年度3月補正予算につきまして、一般会計は8千264万9千円を増額しています。

内訳として主なものは、国の第2次補正予算を活用した道路整備や学校施設の改修、スクールバス等の置き去り事故防止のための安全装置の設置など1億2千950万円を増額しています。

このほか、商店街お買い物券事業補助金や、急激なエネルギー価格高騰の影響を受けている指定管理施設の運営継続のための支援金などを増額しています。

一方、令和4年度中の各事業の予算の執行見込みに合わせ、不用額8億1千303万2千円を減額しています。

特別会計及び企業会計につきましては、

国民健康保険特別会計	1億5千70万9千円を増額
介護保険特別会計	2千958万4千円を減額
学校給食事業特別会計	1千19万6千円を増額
下水道事業会計	2千588万9千円を増額

しようとするものです。